

# 車種別取付資料

BOX No. 542471

車両情報

マツダ CX-3

DK系

1/3ページ

Type ※ドアロック/アンロックは取付不可

平成27年2月~30年5月 ① アドバンスキーレスエントリー付き車のみ

Opt.

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

①各配線の取り付けについては、2/3~3/3ページをご覧ください。

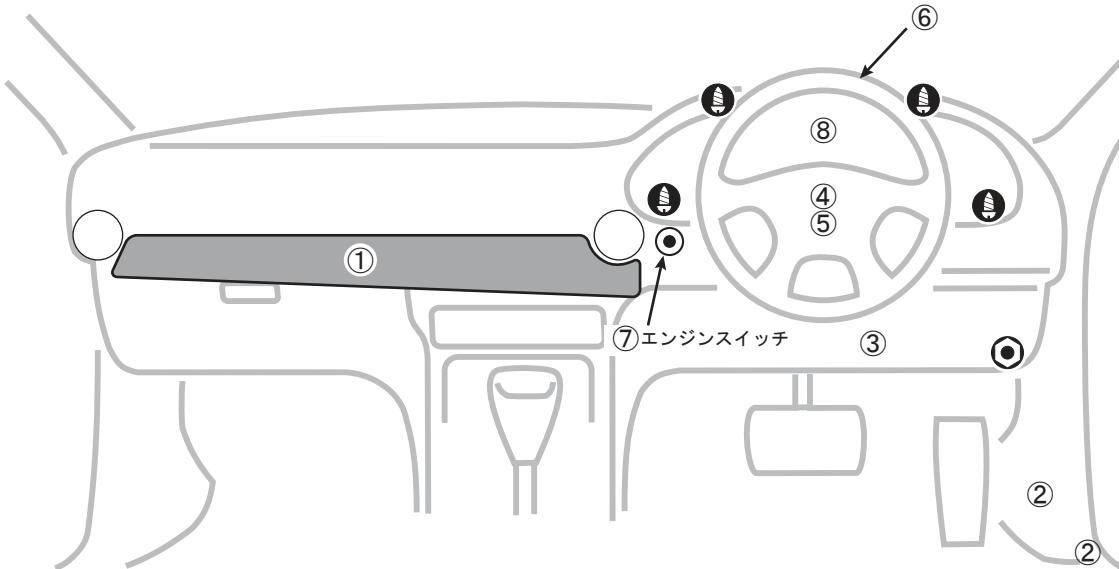
## ①注意事項

エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けして、エンジンスターターを使用する際は、エンジンスターターのリモコンと電子キーは必ず重ねた状態で操作してください。重ねずに操作をすると、エンジンは始動しません。

①別売のハザードユニットⅡ(商品コード:EP156)の取り付けは、できません。

## ①カバー類の取り外し方

- ①助手席側送風口の横~センター送風口の左下まで一体の飾りパネルを外す。
- ②右サイドステップカバーとサイドカバーを外す。
- ③ロアカバーを外す。…右下側のボルト(1本)を外してから手前に引っ張りながら外す。右下側のリリースレバーと診断コネクタは必要に応じて外す。
- ④コラムカバー(上側)を外す。…ステアリングを手前側の最下まで下げてから、カバー左右のレバー付近を親指で押しながら手前側から順番にコラムカバー(下側)とのツメのかん合を外す。最後に、メーターフードのカバーから左右のツメ(4箇所)を破損しないように一つずつ外す。
- ⑤コラムカバー(下側)を外す。…下側のネジ(2本)を外してから、カバーを左右に動かしてレバーのツメのかん合を外す。その後、ステアリング(チルト)のレバーを最下まで下げ固定してから、カバーを手前側に引いて奥下側のガイドを外しながらカバーを外す。
- ⑥メーターバイザーを手前に引き出す。…手前に引っ張りながらツメを外して引き出す。
- ⑦エンジンスイッチの裏側のコネクタを外す。
- ⑧メーターを手前に引き出す。…ネジ(上側に2本、下側に2本)を外してから引き出す。



止めネジ等



# 車種別取付資料

BOX No. 542471

車両情報

マツダ CX-3

DK系

2/3ページ

Type ※ドアロック/アンロックは取付不可

Opt.

平成27年2月~30年5月 ①アドバンスキーレスエントリー付き車のみ

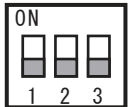
## ① 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのNEXT LIGHT 801 (商品コード: ESL 801) のみです。
- ・専用ハーネスと送信ユニットはセット商品に含まれています。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。(本ページ左下に記載)
- ・エンジンスターターにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを重ねた状態にして、送信操作してください。
- ・リモコンと電子キーを重ねずに操作をすると、エンジンは始動しません。

## ① 特有の注意事項

- ※エンジンスターターでアイドル中では、車両のリクエストスイッチおよび電子キーの操作でのドアロック/アンロックは作動しません。リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、車両のリクエストスイッチまたは、電子キーのアンロック操作にてドアを開けて下さい。
- ※予備(スペア)の電子キーも含めて、全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、全てOFFにセットされていることを確認してください。(出荷時は、全てOFFにセットされています。)

## ① CN2ハーネスについて

オプション部品のボンネットセンサーを取り付けしない場合、CN2ハーネスは使用しません。

①専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置: 右サイド上側のユニット固定金具のボルトに共締めする。

サイドカバー内  
LFコントロールユニット  
24P白色カプラ

## 初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のイグニッションをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

エンジンスイッチの裏側  
10P 黒色カプラ

専用ハーネス

10Pコネクタを割込接続

コラム下側の  
スタート・ストップユニット  
左側の32P白色カプラ

フットブレーキ上側  
4P白色カプラ

専用ハーネス  
IG1入力(橙)  
茶

専用ハーネス  
ST入力(白)  
若葉

専用ハーネス  
STOP出力(青)  
青

専用ハーネス  
12V(黄)  
灰

専用ハーネス  
LF(赤)  
灰

① IG ON時: 0V、  
始動後: 12V

① 通常時: 0Vで、  
フットブレーキを踏んだ  
とき: 12V

専用ハーネス

M151S

## ① 取り付け方法

- ①専用ハーネスの10P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
- ②黄色/青色/橙色/赤色/白色の5本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ③アース(黒色)を、指定位置に固定する。
- ④専用ハーネスの10P白色コネクタへ送信ユニットを接続して、運転席側ドアトリム上側のグリップ付近へ送信ユニットを取り付ける。(3/3ページの写真を参照)
- ⑤14PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

# 車種別取付資料

BOX No. 542471

車両情報

マツダ CX-3

DK系

3/3ページ

Type ※ドアロック/アンロックは取付不可

Opt.

平成27年2月~30年5月 ① アドバンスキーレスエントリー付き車のみ

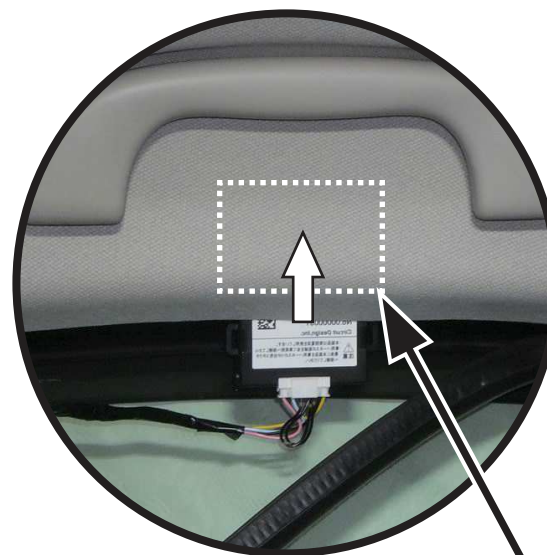
## 重要！各ユニット取り付け時のポイント

- リレーユニットとアンテナユニット
  - ・必ず運転席側へ取り付け（固定）してください。
- 送信ユニット（写真①~③を参照してください）
  - ・運転席側ドアトリム上側のグリップ付近の内張の隙間へ、送信ユニットのラベル表示面を車室内側へ向けて固定してください。
  - ・リレーユニットから送信ユニットへのハーネスは、ドアトリムのウェザーストリップを外し、トリムに沿わせて上側のグリップ付近へ導いてください。

①運転席側ドアトリム



②ウェザーストリップを外し送信ユニットへのハーネスを点線のように沿わせる



③送信ユニット取り付けエリア

- ① ウェザーストリップがきれいに収まるようように送信ユニットは、上側へ押し込めてください。送信ユニットのラベル面は必ず車室内側へ向けてください。

# NEXT LIGHT Q & A

ESL80-1

平成27年12月18日

## Q1 認証エラーでエンジンが始動しない (図1)

- A1 : リモコンと電子キーは重ねた状態で、使用してください。(図2)
- A2 : 全ての電子キーを車室外へ出して始動させてください。  
※車室内に電子キーがあると始動しない場合があります。
- A3 : 車両の電子キーの電池を新品に交換してみてください。(年式の古い車両)  
※電子キーの電池が消耗していると始動しません。
- A4 : LF配線の接続を確認してください。

## Q2 車内、または近くでは始動するが離れると認証エラーで始動しない

- A1 : アンテナケーブルのコネクタが抜けていないことを確認してください。  
※抜けていると、20m~30mしか飛びません。(図3)
- A2 : 送信ユニットが正しく接続されており車種別取付資料で指定された場所に取り付けしてあることを確認してください。  
※正しく取り付けされていないと、20m~30mしか飛びません。

## Q3 エンジンは始動するが、すぐに止まってしまう。

- A1 : ST入力配線の接続を確認してください。  
※正しく接続されていないと、始動してもすぐにエンジンが止まります。

